早稲田大學校歌

一

都の西北早稲田の森に
そびゆるいらかは吾等の母校
われらの日夢の校舎をかすや
進むの精神学の栄立
現世我忘れぬ久遠の理想
かくやわれらの行く手を示せ
わせ、わせ、わせ、
わせ、わせ、わせ、

二

東西文化の流れは
一つふうつまくたる時代の
大なる使命になりて立てる
われらの行く神はまはせを知らに
せのても久遠の理想のけは
あまねく天下に輝かせ
わせ、わせ、わせ、
わせ、わせ、わせ、

三

いざ見よあれかの光輝の極は
心のふるさとわれらの母校
集まる都の人は賢愚を
あふるる同じき理想の光
いざ歌へ力のせて空も響くに
われらの母校の名をぞ
わせ、わせ、わせ、
わせ、わせ、わせ、

相馬御風作並曲

早稲田大學校歌

一

都の西北早稲田の森に
そびえゆるいらかは高き母校
われらの日頃の抱負をのべ
進みの精神堂々の形立
現世は忘れぬ人生の戦場
かゝやくわれらの行く手を入るや
わせ、わせ、わせ、
わせ、わせ、わせ、

二

東西古今の文化のうしほ
一つふうつまくたゞ巻くなりの
大なる使命を負ひて立てる
われらの行く神はまことに知らに
やのてもの人生の理想のけは
あまねく天下埋まる童
わせ、わせ、わせ、
わせ、わせ、わせ、

三

いのれ人よあまたの学徒の精神は
心のふるさとわれらの母校
集まる都の人は賢愚を
あふるゝ同じき理想の光
いざ夢のまぼろしの空もふる
われらの母校の名をとゝめむ
わせ、わせ、わせ、
わせ、わせ、わせ、

相馬御風作詩

わせ、
わせ、
わせ、

相馬出風作
木